

|                |   |           |                 |                              |
|----------------|---|-----------|-----------------|------------------------------|
| <b>財務会計論B</b>  |   | <b>講義</b> | <b>教授 安藤 鋭也</b> |                              |
| <b>科目カテゴリー</b> | <b>会計ファイナンスコースの<br/>選択必修科目，経営・経済<br/>コースの専門選択科目，教<br/>職科目</b> |           | <b>科目ナンバリング</b> | <b>23012202<br/>25320202</b> |

### 1. 授業のねらい・概要

会計は、企業外部の利害関係者（例えば株主や銀行）への報告を目的とする財務会計と、企業内部のマネジメント層（例えば社長やCFO）が経営に役立てることを目的とする管理会計に分類されます。この授業では財務会計に関して、（財務会計の）基本的な考え方を主に理論面から、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

後期の財務会計論Bでは、第7章資本金会計～第12章財務諸表の分析を取り上げます。第1章総論～第6章負債会計は、前期の財務会計論Aで取り上げます。

受講にあたっては、「会計学基礎」「会計学総論」を履修していることが望ましいです。

### 2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とします。同時に、新聞・雑誌などから具体的な事象を取り上げます。いずれにおいても、皆さんの積極的な参加を心から歓迎します。

### 3. 授業計画

|                                 |                             |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. ガイダンス，第7章 資本金会計 (1)意義，分類     | 9. 第10章 連結財務諸表 (1)意義，目的     |
| 2. 第7章 資本金会計 (2)株主資本            | 10. 第10章 連結財務諸表 (2)連結BS     |
| 3. 第7章 資本金会計 (3)株主資本以外          | 11. 第10章 連結財務諸表 (3)連結PL     |
| 4. 第8章 損益会計 (1)意義，分類            | 12. 第11章 企業結合と事業分離          |
| 5. 第8章 損益会計 (2)諸原則              | 13. 第12章 財務諸表の分析 (1)意義，目的   |
| 6. 第9章 財務諸表の作成 (1)意義，分類         | 14. 第12章 財務諸表の分析 (2)安全性，収益性 |
| 7. 第9章 財務諸表の作成 (2)BS，PL         | 15. まとめ                     |
| 8. 第9章 財務諸表の作成 (3)CF，株主資本等変動計算書 |                             |

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回テキストの該当箇所を事前に読んできて下さい（30分程度）。また学修内容の定着には復習が不可欠です。前回の授業内容は、配布資料も使って理解に努めて下さい（1時間程度）。もし不明な点や疑問点があれば、メールや次回の授業で遠慮なく質問して下さい。一緒に解決しましょう。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際は、解答のポイントや出題意図を（試験）終了直後に説明します。

### 6. 授業における学修の到達目標

財務会計の基本的な考え方を理解した上で、現行のわが国の企業会計制度の概要を把握することが目標です。

### 7. 成績評価の方法・基準

平常点50%（授業への取組み姿勢など）および期末テストの結果50%の割合で成績評価を行います。

### 8. テキスト・参考文献

テキストは、新井清光・川村義則（2020）『新版 現代会計学（第3版）』中央経済社を使用します。本テキストは改訂される可能性があります。授業では最新版を使用します。参考文献は適宜紹介します。

#### **9. 受講上の留意事項**

受講にあたっては、会計や簿記の基礎知識を有している方が望ましいです。とはいえ必要不可欠ではありません。財務会計を理解してもらえよう、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

ただ授業は積み上げ、内容的にはAとBでワンセットです。したがって通年で毎回出席されることをお勧めします。

#### **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当します。本授業は、総合商社（経理部門）における実務経験も活かして指導します。

#### **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおりです。